

「多様な人材が活躍できる大学へ」 —本学初の女性学長・上條由美学長インタビュー—

—— 学長ご自身のキャリアにおいて、多様性を意識したきっかけや出来事があれば教えてください。

正直、これまではそれほど意識してはいませんでした。ただ役員になってふと周りを見回したとき、女性がほとんどいないことに気づいたんです。昇進の機会が公平でない可能性や、意思決定の質が低下しているかもしれないことを感じ、改革の必要性を意識するようになりました。自分がロールモデルとなり、性別や年齢に関わらず能力を発揮できる大学にしたいですね。



—— 本学は、医療系大学として、D&Iや両立支援にどのような特色があるとお考えですか。

医療現場は長時間労働が多く、在宅勤務や短時間勤務が難しい職種が多いです。職種や立場ごとに課題が異なりますが、全員が働きやすく学びやすい環境づくりが欠かせないと思います。

—— 制度面での取り組みはありますか。

今年4月から1時間単位で有給休暇を取得できる制度を導入しました。通院や子どもの送迎、親の介護や不妊治療など、半日も休む必要がない場合に便利です。また1月から江東豊洲病院で病児・病後児保育を始めました。今後は学内保育所の設置も前向きに検討していきたいと思っています。

—— 最後に、今後のビジョンをお聞かせください。

多様な人材がライフステージに関わらず活躍でき、互いに支え合える職場にしたいです。学生にも多様な患者さんの背景を理解できる医療人になってほしい。そのための教育機会も増やしていきたいと思っています。

聞き手：有馬牧子准教授



YouTube 公開中

上條学長とD&I推進室 有馬准教授の対談動画を本学公式You Tubeで公開中です。

ぜひチェックしてみてください！

動画QRコード ▶



お問い合わせ

メール：div.incl@ofc.showa-u.ac.jp

学業・仕事とライフイベントとの両立に関すること、病気との両立に関すること、LGBTQに関することなど、お気軽にお問い合わせください。また、今後こんな取組があったらいいな、という皆様のご意見がありましたらお知らせください。

室長：馬場一美 室員：有馬牧子 事務：林あゆみ

《ホームページもご覧ください》

昭和医科大学トップページ > 昭和医科大学について > 大学の取り組み > 昭和医科大学ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)推進室